一般財団法人　津山慈風会　津山中央病院

病診連携広報誌
メディネット
Medinet
2017年7月号
vol.179

ラベンダーと十勝連峰（富田ファーム・富良野）

撮影　徳田名誉院長

CONTENTS

シリーズ　『　乳がん　』

第５回　リンパ浮腫

一度発症してしまうと治癒が困難で、QOL を低下させてしまうリンパ浮腫。当院看護師によるリンパ浮腫の早期発見・早期治療により悪化させないための取り組みを紹介します。

News &Topics

外国人患者受入れ医療機関認証（JMIP）の認証取得

6/28　出張 CC セミナー in 新見 のご報告

シリーズ 『 乳がん 』

第５回　リンパ浮腫

乳がんで手術を受けた患者さんの中には、手術側の上肢のむくみを訴える方がおられます。治療の過程でリンパ節郭清や放射線療法が行われると、リンパ節に流入するリンパ管が損傷されます。すると、今までそのリンパ管で運搬されていたリンパ液の流れが滞り、リンパ管が損傷された部分より末梢側にリンパ液のうっ滞が生じます。このうっ滞により浮腫が発症してくるのです。

リンパ浮腫は、がん治療を受けた患者さん全員が発症するわけではありません。リンパ管が損傷を受けても、損傷の程度や元々存在する側副路が発達していれば、浮腫を発症しないか、または発症しても改善する可能性が高いと言われています。近年は手術時にセンチネルリンパ節生検を実施し、迅速病理でがん細胞がなければ腋窩リンパ節の郭清を行わないようになっています。腋窩リンパ節郭清をしていない患者さんはリンパ浮腫を発症しないと考える人も多いですが、2006 年の臨床研究でセンチネルリンパ節生検のみ実施している患者さんのリンパ浮腫発症率は 10.1％と報告されています。生検をすることでリンパ管の損傷が起こるためと言われています。発症時期は、術後１年以内が最も多いのですが、これには個人差もあり、術後 20 年以上経過した患者さんが発症した事例もあります。

リンパ浮腫の治療は、リンパ管と静脈をつなぐ外科的治療がありますが、基本的には保存的治療である日常生活指導とともに複合的理学療法を行う複合的治療が基本となります。複合的理学療法とは、スキンケア、用手的リンパドレナージ、圧迫療法、圧迫した上での運動療法が含まれます。これは、専門的教育を受けた、知識のある医師または看護師、理学療法士、鍼灸師による実施が望ましいと言われています。当院ではリンパ浮腫専門の外来はありませんが、当院かかりつけの患者さんについては、主治医から依頼があれば、対応させていただいております。ただし、マッサージは実施しておりませんので、日常生活指導とセルフケア指導が中心となっております。必要があれば、弾性着衣やバンテージを使用した圧迫療法の指導も実施しています。

リンパ浮腫の患者さん達から一番多く尋ねられるのは、「治りますか？」ということです。残念ながら、切除したリンパ節や損傷したリンパ管の再生はできないので、完治ということは難しいのが実情です。ただ、マッサージや圧迫療法などのセルフケアを継続することで改善していき、またその状態を維持することができます。リンパ浮腫の治療は、気長に上手に浮腫と付き合いながら、いい状態をキープすることが重要となります。

私は、リンパ浮腫治療士、MLAJ 認定セラピストとして患者さんと関わっていますが、患者さんが、少しでも笑顔で過ごせるようにお手伝いしていければと思います。

リンパ浮腫治療士　MLAJ 認定セラピスト
がん化学療法看護認定看護師
大谷　孝代

シリーズ『乳がん』　バックナンバー

2017年1月号
第1回　早期発見
デジタルマンモグラフィー

H28年11月にデジタルマンモグラフィーの機器更新を行い、高精細な画像を撮影することが出来るようになり、画像診断の精度を上げる事が可能になりました。

2017年2月号
第2回　乳房再建
ブレストインプラントによる乳房再建

形成外科部長　奥本　和生　医師

当院では現在乳房再建（二次再建）を行うことができる施設認定を受けております。今後一次再建も可能となるように鋭意準備しております。

2017年3月号
第3回　看護師・臨床心理士の関わり

臨床心理士
林　明日香

緩和ケア
認定看護師
上原　徳子

がん化学療法看護
認定看護師
大谷　孝代

乳がんに罹患した患者さんの身体面、精神面をそれぞれのスペシャリストが連携し、時にはチームを組みながらサポートしています。

2017年6月号
第4回　乳腺専門医より

外科部長　野上　智弘　医師

H29年4月乳腺外科を標榜し、住み慣れた地域で手術、放射線、化学療法と総合的な治療が出来るように、県北の乳がん患者受け入れ体制の充実を図っております。

News&Topics

外国人患者受入れ医療機関認証制度（JMIP）Ver.2.0認証を取得しました

外国人患者受入れ医療機関認証制度（JMIP）とは？

一般財団法人日本医療教育財団が認証する制度で、多言語による診療案内や、異文化・宗教に配慮した対応など、外国人患者の受入れに資する体制を第三者的に評価します。

右上のシンボルマークのコンセプトは、球体は地球を表現しており、二つが手を取り合う形（共有）で、「Medical」の「M」を形成しています。ゴールド色が持つ、「確実性」「優秀さ」「安心感」「誇り」などのイメージは多くの国で共通であり、客観的・中立的な審査基準を持った本認証制度の確かさと、安心感の印象を表しています。

（JMIP ホームページより）

受審風景

外国人スタッフ一同

CERTIFICATE OF ACCREDITATION

認 証 書

Tsuyama Chuo Hospital

津山中央病院 殿

Accreditation number : A00029

認証番号 : 第A00029号

Applicable version : ver.2.0

適用した評価項目 : ver.2.0

This is to certify that the healthcare establishment mentioned above has demonstrated satisfactory compliance with the applicable JMIP standards by the Japan Medical Education Foundation.

貴院において日本医療教育財団の定める外国人患者受入れ医療機関認証制度の認証基準を達成していることを証します。

Effective : 12 June 2017 through 11 June 2020

認証期間 : 2017年6月12日から 2020年6月11日まで

Date of issue : 12 June 2017

発行日 : 2017年6月12日

Japan Medical Education Foundation

一般財団法人 日本医療教育財団

Administrative director Masuda Naonori

理事長 増田 尚

この度、当院は一般財団法人日本医療教育財団による外国人患者受入れ医療機関認証制度（JMIP）Ver.2.0を受審し、6月12日付けで中国・四国地方で岡山大学病院に次いで2番目に認定されました。

これは、外国人の方々が安心・安全に医療サービスを享受できる体制が整備されているかを『受入れ対応』、『患者サービス』、『医療提供の運営』、『組織体制と管理』、『改善に向けた取り組み』の5つの観点から評価するものです。

当院は、今年4月国際医療支援センターを開設し、外国人スタッフ4名を採用しました。地域の在留外国人患者の診療をはじめ、健診や陽子線治療を中心とした医療インバウンドへの対応体制を整えて、国籍に関わらず誰もが安心して医療を受けられる環境整備に努めてまいります。

法人本部統括部長　居森　英行

当院の取り組みを随時 Facebook で発信しております。 津山中央病院

News&Topics　新任医師のご紹介

7月1日付
○内科部長
北村 卓也（きたむら たくや）

専　門　分　野：　糖尿病
学会認定専門医等：　日本内科学会総合内科専門医
日本糖尿病学会指導医
JMECC インストラクター

7月1日付
○泌尿器科主任
山下 真弘（やました まさひろ）

専　門　分　野：　泌尿器疾患全般、尿路結石、腫瘍
学会認定専門医等：　日本泌尿器科学会専門医

News&Topics　地域連携室からご報告

陽子線セミナー　in　新見　を開催しました

平成29年6月28日（水）新見市医師会立老人保健施設くろかみにて『陽子線治療講演会』を開催致しました。12施設35名の医師やコメディカルの方々にご参加頂きました。
陽子線治療はがん治療の新しい選択肢の1つとなっております。適応のご相談から治療のご依頼までお気軽にご連絡下さい。
今後も医師会単位で講演会を続けて行きたいと考えておりますので、宜しくお願い申し上げます。

放射線線治療センター 副センター長
脇　隆博　医師

地域連携室主任リーダー
高橋　稔

今後の出張CCセミナー予定

○7/20　出張CCセミナー　in　美作
対象：医師
○10/5　出張CCセミナー　in　真庭
対象：医師
○10/12　陽子線セミナー　in　高梁
対象：医療従事者

当院の取り組みを随時Facebookで発信しております。 津山中央病院

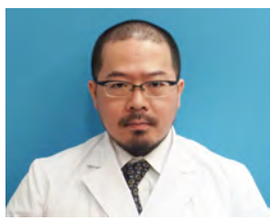
外来診療担当医の変更について

津山中央病院　内科、泌尿器科、小児科に変更がありました。別紙、外来診療担当医表にてご確認下さい。
ホームページ（http://www.tch.or.jp）でもご覧いただけます。

退職医師のお知らせ

6 月 30 日付
○泌尿器科部長
　日下　信行

→鳥取市立病院へ



研究会、教室のご案内

■美作地区胸腹部画像診断研究会
日時／7 月 21 日（金）19:00 ～
場所／津山中央病院　医療研修センター　２階講義室
※変更がある場合がございますので、詳細はお問合わせ下さい

■津山中央記念病院　糖尿病教室
日時／毎週火・水曜日　13:30 ～（30 ～ 60 分程度）
場所／津山中央記念病院２階会議室

■津山中央病院　糖尿病教室
日時／毎週月曜日　13:00 ～ 14:00
場所／津山中央健康管理センター３階
　　A 会議室

ＣＣセミナー（地域連携セミナー）のご案内（7 月・8 月）

当院では、地域連携セミナーとして、ＣＣセミナーを開催しています。
地域の医療従事者の方に自由にご参加いただけます。

日時：平成29年7月11日（火）19:15~20:15
内容：『　扁桃疾患の肉眼所見と手術適応　』
講師：津山中央病院 耳鼻咽喉科 山川 千鶴 医師
場所：医療研修センター2F 講義室

日時：平成29年7月13日（木）19:15~
内容：『　下肢深部静脈血栓症の診断と最新の治療　』
講師：鳥取大学医学部器官再生外科学 准教授 中村 嘉伸 先生
場所：慈風会記念ホール

日時：平成29年7月13日（木）19:15~
内容：『　岡山糖尿病 Total Care Web Seminar　』
場所：医療研修センター2F 講義室

日時：平成29年7月14日（金）17:30~
内容：『　地域連携Webセミナー　』
講師：宮崎県立日南病院　木佐貫 篤 先生
場所：津山中央病院3F 中会議室

日時：平成29年7月20日（木）19:00~
内容：『　出張CCセミナー in　美作　』
講師：津山中央病院　内科　下村 泰之 医師
場所：湯郷グランドホテル
対象：医師
※事前申込が必要ですのでご注意下さい。

日時：平成29年7月27日（木）19:00~20:15
内容：『　鎮痛薬の適正使用を考える
　　＝CKD・CVDの観点から＝　』
講師：松山赤十字病院 腎臓内科部長 上村 太朗 先生
場所：慈風会記念ホール

日時：平成29年8月5日（土）14:00~15:30
内容：『　点と線　~成長曲線からわかること~　』
講師：鳥取大学医学部 周産期・小児医学
　　教授　神﨑 晋 先生
場所：慈風会記念ホール

**私たち津山慈風会は、
地域の皆さんに
やさしく寄り添います**

津山中央病院 地域連携室
〒708-0841　津山市川崎 1756
TEL 0868-21-8111　FAX 0868-21-8201
ﾒｰﾙ　tcmn@tch.or.jp
HP　http://www.tch.or.jp